

# 法案誤り等再発防止プロジェクトチーム取りまとめ 概要

## 誤りの内容・原因

第204回通常国会の閣法における誤りは、合計181件

※ 案文(改め文)：14件、参考資料：167件(新旧の改正箇所以外における誤字・脱字、様式不備等が、161件)

## 誤り防止のための当面の方策

(※)はデジタル・ICT関連の取組

### 作成段階

- 基本的な留意事項の再確認
- 法制局の「手引き」やチェックシートの改訂・活用  
＜今夏を目途に改訂＞
- 横断的な確認事項のとりまとめ、研修の実施  
＜今夏～次期通常国会の法案提出に間に合うよう実施＞
- ノウハウを有する職員の適切な配置、再任用・専門スタッフの活用
- e-LAWS(法制執務業務支援システム)の迅速かつ正確な法令データの整備 (※) ＜次期通常国会の法案提出に間に合うよう実施＞  
等

### 審査段階

- 複層的チェック体制での確認
- 法令審査支援システムの機能向上 (※)  
＜工程表を年内に作成＞
- 配字・禁則処理に係るルールの統一  
＜今回措置＞  
等

### 印刷段階

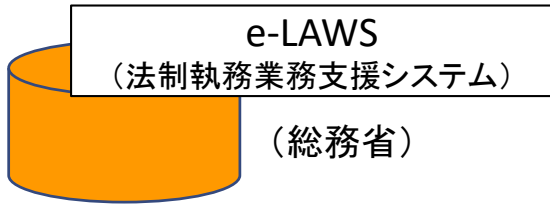
- 編集・印刷システムの機能強化 (※)  
＜工程表を年内に作成＞
- 編集・校正人材のスキルアップ等
- 余裕のある校正・印刷日程の設定  
等

## 中期的な方策

### デジタル技術や各種システムの活用

- e-LAWSの編集機能の改善など抜本的な機能向上 (※)
- e-LAWS、法令審査支援システム、編集・印刷システムの連携・統合 (※)
- 民間事業者の法制執務サービス等の活用
- ICTを活用した法制執務全般のデジタル化の検討 (※)

## 当面の方策



### 【目的】

- ・正確な法令データベースの構築
- ・法案作成業務の省力化・効率化（新旧から改め文を自動作成）

### 【現状】

- ・法令データ更新の遅れ
- ・（一部）法令所管省庁の認証なく掲載
- ・法制執務での活用が進んでいない

### 【見直し】

- ・法令編纂を所管する法務省が法令データを整備
- ・法令公布後速やかにデータ更新
- ・参照条文の自動作成機能を整備
- ・新旧、参照条文の作成に活用

<次期通常国会の法案提出に間に合うよう実施>



### 【目的】

- ・条文表記の正確性の点検・確認作業を確実にかつ効率的に実施（改め文のチェックに活用）

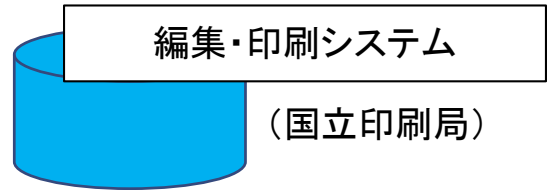
### 【現状】

- ・検知できない誤り
- ・過度に多くのエラー検出

### 【見直し】

- ・効率的な誤りチェックのための機能向上

<工程表を年内に作成>



### 【目的】

- ・法令や官報等の公共性の高い行政情報を正確かつ確実に印刷

### 【現状】

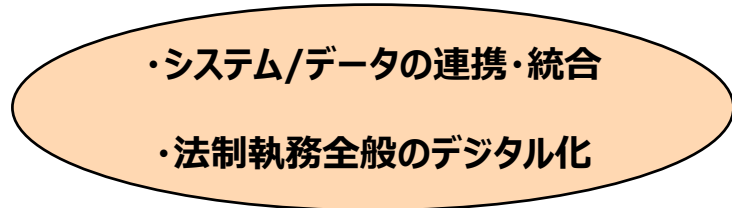
- ・編集段階で様式等の誤りが発生

### 【見直し】

- ・レイアウトのズレの自動検知、誤字脱字の自動校正等の機能強化

<工程表を年内に作成>

## 中期的な方策



- ・抜本的な機能向上に向けた検討
  - 編集機能（案文・新旧の自動作成等）の改善
  - システムの操作性向上 等

※ 法制執務全体の業務フローの検証、e-LAWSの役割等の再整理が必要

# 法案誤り等再発防止のための方策

別紙2

令和3年6月

(夏頃)

12月

(次期常会)

令和4年

チェック体制の強化  
法案作成能力の向上

手引きやチェックシートの改訂  
【内閣法制局】

横断的な確認事項の  
とりまとめ  
【プロジェクトチーム】

研修による法案作成能力等向上  
【各府省庁】

ノウハウを有する若手職員の育成、適切な配置  
再任用・専門スタッフの活用

編集・校正作業者のスキルアップ・体制強化【国立印刷局】

デジタル・ICTの活用

e-LAWSの迅速かつ正確な法令データの整備  
【IT室・総務省・法務省】

e-LAWSの機能向上

法令審査支援システムの機能向上に向けた  
工程表作成 【内閣法制局】

工程表に基づく  
システム改修

編集・印刷システムの機能強化に向けた  
工程表作成 【国立印刷局】

工程表に基づく  
システム改修

中期的な方策

- ▼ 各種システムの連携・統合
- ▼ 民間サービス等の活用
- ▼ 法制執務全般のデジタル化